

SS 探究ⅡC

生物セミナー「顕微鏡で調べよう！」

令和4年5月27日（金）、本校の広田耕二教頭が講師となって、2年生家政科を対象とした生物セミナー「顕微鏡を調べよう！」を開催しました。まず、広田教頭が事前に準備した煮干しを1日水に浸けたものの胃や腸をすり潰したものを顕微鏡で生徒に見てもらいました。ディスプレイの画面に映し出されたものの中に、プランクトンがあり、プランクトン→小魚→中・大魚→人間といった植物連鎖についての話がありました。その後、実際に顕微鏡の操作を行いました。まず、実験1として接眼マイクロメーター1目盛りの長さを測定しました。2年生家政科の生徒にとって、顕微鏡の操作は、約1年振りでしたが、多くの生徒が上手に操作をしていました。次に、実験2として、タマネギの細胞の大きさと核の大きさを調べてみました。まず、タマネギの鱗片葉の内側の表皮をピンセットでスライドガラスに移し、酢酸オルセイン溶液を垂らし、カバーガラスを被せ、測定しました。更に、タマネギの種を発芽させたもので押しつぶし法による体細胞分裂の観察も行いました。セミナー終了後、代表生徒が「実際に、顕微鏡でマイクロメーターを合わせることで、長さは同じでも倍率が違うようになり、見える世界が変わることが分かり、顕微鏡が好きになりました。今回のセミナーで学んだことを、SSHの課題探究に生かしたいと思います。」とお礼の言葉を述べました。

実験を行っているときの広田教頭の生き生きとした姿が印象に残るセミナーとなりました。

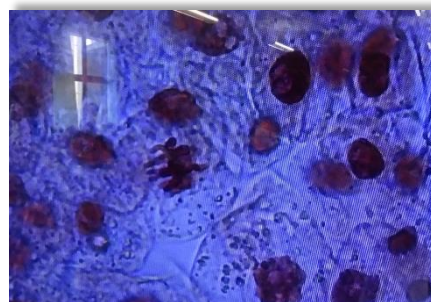


写真 左上：研修のようす
左下：実験のようす

写真 右上：顕微鏡で観察しているようす
右下：生徒が見つけた分裂した染色体